

ごあいさつ

財団法人 花王芸術・科学財団 理事長

後藤 卓也

Goto Takuya



花王芸術・科学財団は、平成17年10月、前身の財団法人花王芸術文化財団設立から数えて15周年を迎えました。ご支援賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。この機会に、設立時から現在までを振り返り、未来に向けて更なる発展を祈念して、財団の15年の歩みを冊子にまとめました。

平成2年10月、花王株式会社100周年の記念事業として、人間性・文化性豊かな社会の建設の一助にという思いから、美術・音楽の助成支援を目的に財団を設立いたしました。当時は、日本がバブル経済に突入した頃で、「文化の時代」「地方の時代」というかけ声のもと、日本各地に美術館やコンサートホールが次々と誕生していました。設備は完備しても、財政的には恵まれない状況を鑑みて、企業として生活文化に貢献するひとつの方法として、財団設立に至ったのです。

その後、平成9年4月には、学術研究の分野にも助成の対象を広げ、「表面の科学分野」での先端的、基礎的な科学技術研究への助成、若手研究員の顕彰、芸術文化、科学技術の枠組みにとらわれない文理融合の研究にも支援を行ってきました。恐らく日本にはひとつしかない、芸術と科学の助成事業を併せ持つ財団が誕生したのです。現在にいたるまでの助成・顕彰総額は、7億395万円、1022件の活動に及んでいます。理事をはじめ評議員、選考委員、その他関係者の皆様に支えられた15年間の活動を通じて、大きな成果を育むことができました。

豊かな生活文化を支えるためには、芸術文化の発展と、科学技術の発展は欠かせません。さらに21世紀は、文科、理科の領域を超えた領域、あるいはそれらを融合した領域の学問も発達してゆくことでしょう。当財団の活動が、日本の未来を拓く一助となるよう、これからも地道な活動を続けてまいります。今後とも、皆様の温かいご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。